

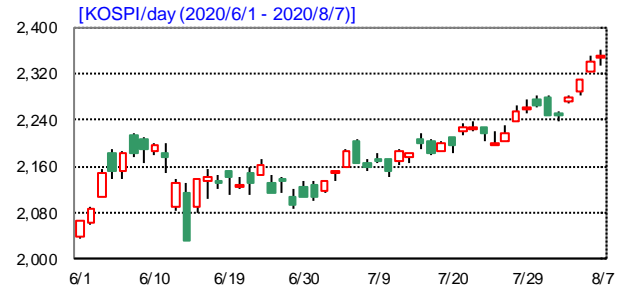


【韓国】 総合指数は週間で4.5%高と続伸、今週は高値警戒の売りが出やすいか

先週の動き／今週の展望

総合指数は週間で4.5%高と続伸。買い優勢の展開となった。新型コロナウイルスの世界的な感染拡大や米中対立の先鋭化に対する警戒感が意識されたものの、米ナスダック総合が連日で過去最高値を更新したのを背景に投資家のリスクオン姿勢が強まった。また、好業績を手掛かりとした買いなども相場の支えとなった。指数は週初の3日に反発して始まると7日まで5日続伸。4日に年初来高値を更新、5日に節目の2300ポイントを回復、7日終値は2018年9月末以来、1年10カ月ぶりの高値を付けた。今週は高値警戒の売りが出やすくなる中、米ハイテク株の動向をにらんだ展開か。新型コロナの感染拡大や米中対立の動向には要注意。国内の経済指標では12日に7月の失業率、14日に7月の貿易統計が発表される予定。

▼指数チャート

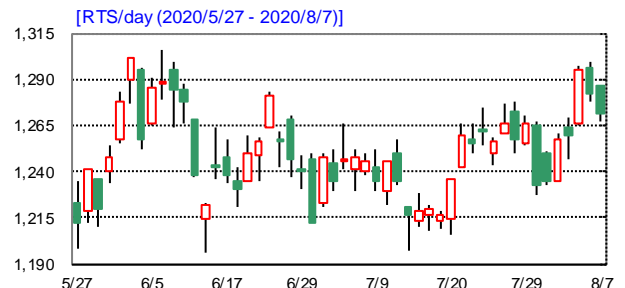


【ロシア】 RTS 指数は週間で3.0%高と反発 今週も原油相場をにらんだ展開か

先週の動き／今週の展望

RTS 株価指数は週間で3.0%高と大幅に反発。欧米株高、原油高、ルーブル高に加え、金価格の上昇を受けた産金株の大幅高も指数を押し上げた。RTS 指数は週明け3日から5日まで3日続伸。欧米株高や原油相場の上昇、ルーブル高を受けて、エネルギー株や金融株が買われ、金相場の上昇で産金株も大幅高となった。週後半はルーブル安や原油相場の調整を受けて続落したが、5日までの貯金で週間ベースでは反発した。個別では金相場の上昇を好感し、産金のポリユスが6.6%高、ポリメタル・インターナショナルが4.2%高で、エネルギーのロスネフチが2.9%高、ガスプロムが2.5%高。時価総額最大の金融のズベルバンク・オブ・ロシアは2.6%上昇した。今週も原油・為替相場に加え、欧米株価に左右される展開か。

▼指数チャート



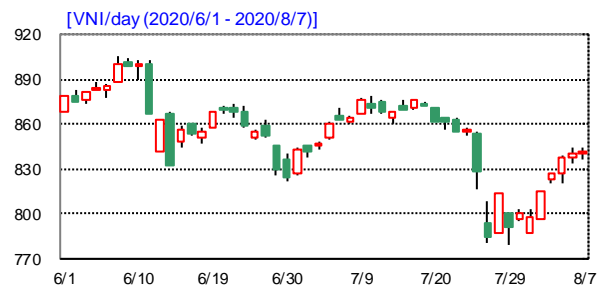
【ベトナム】 ベトナム指数は5.4%高と3週ぶり反発、今週は海外資金流入で堅調か

か

先週の動き／今週の展望

VN 指数は週間で5.4%高と3週ぶりに大幅反発。リスクオンの流れを受けた海外資金の流入が指数を押し上げた。前週末の米国株高で買い安心感が広がり、週明け3日のVN 指数は前週末比2.0%高と大きく反発。海外投資家の買いが指数を押し上げた。その後も外国人買いが続き、指数は4-5日に連日で1%超上昇。週後半は上昇ペースが鈍ったものの、VN 指数は7日まで5日続伸し、7月23日以来の水準を回復して週の取引を終えた。個別では鉄鋼のホア・ファット・グループが11.5%高、飲料のサイゴンビール・アルコール飲料が9.5%高となり、金融のベトコムバンクが8.5%、ベトインバンクが7.3%、エネルギーのペトロベトナム・ガスが7.2%、ベトナム石油総公社が5.7%上昇した。今週も海外からの資金流入で堅調か。

▼指数チャート



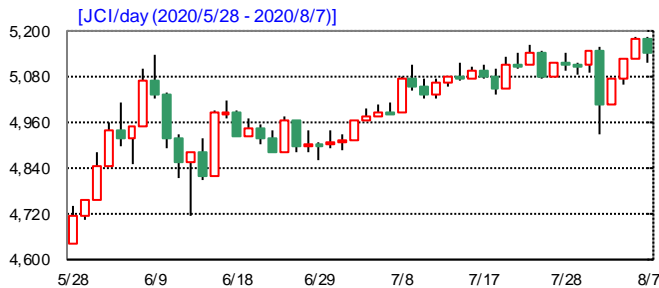


【インドネシア】

【先週の動き／今週の展望】ジャカルタ総合指数は 0.1%安、4-6 月期の GDP は前年同期比 5.3%減

ジャカルタ総合指数は週間で 0.1%安と 6 週ぶりに反落。週末の下落が痛手だった。連休明けの 3 日は、新型コロナウイルスの感染拡大を背景に、前週に国内各地で行動制限の期間が延長された影響で指数は前営業日比 2.8%安と反落。一方、4 日は前日の NY ダウが続伸した効果で前日比 1.4%高と反発すると、5 日は 4-6 月期の GDP が前年同期比 5.3%減と市場予想から下振れしたものの影響は小さく続伸した。6 日には終値で約 5 カ月ぶりの高値を更新したが、7 日は中国 IT 企業に対する米国の規制強化が嫌気され、4 日ぶりに反落して引けている。今週は 11 日発表の 6 月の小売売上高に対する市場の反応が焦点。

▼指数チャート

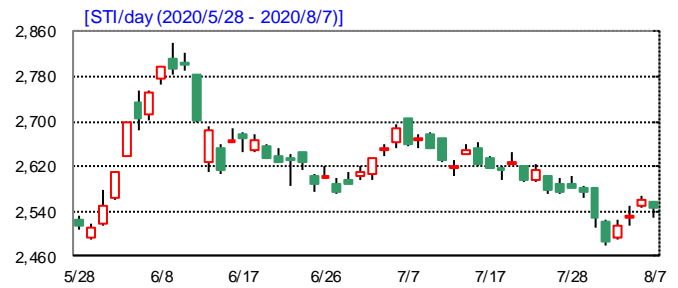


【シンガポール】

【先週の動き／今週の展望】スレーツタイムズ指数は 0.6%高、7 月の製造業 PMI は 50.2 に上昇

スレーツタイムズ指数は週間で 0.6%高と 5 週ぶりに反発。週初に終値で 2500 ポイントを割り込んだが、その後はおおむね堅調に推移した。3 日は 4-6 月期の決算発表を控えた金融と不動産部門の一角が売られ、指数は前営業日比 1.8%安と 3 日続落。一方、4 日は前日の取引終了後に発表された 7 月の製造業 PMI が 6 カ月ぶりに節目の 50 ポイントを超えた効果で前日比 1.2%高と反発した。その後は 6 日まで 3 日続伸したが、7 日は米中の緊張に対する懸念が広がり、反落して引けている。今週は 11 日発表の 4-6 月期の GDP 改定値に対する市場の反応が注目される。10 日は独立記念日の振替休日のため休場。

▼指数チャート

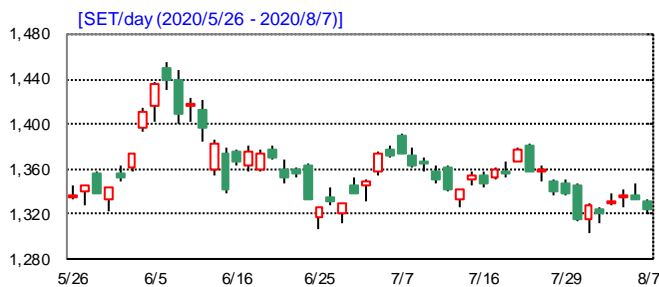


【タイ】

【先週の動き／今週の展望】SET 指数は 0.3%安、エネルギー株が不安定な値動き

SET 指数は週間で 0.3%安と 3 週続落。小幅なレンジでの値動きが続いた。週初の 3 日は「OPEC プラス」が今月から協調減産の規模を縮小することに伴う原油先物価格の小幅な下落を受けてエネルギー株が売られ、指数は反落。一方、4 日に反発すると、5 日は前日にレバノンで発生した爆発による中東の地政学リスクの高まりや、米原油在庫の減少予測で原油価格が上昇し、指数は続伸した。ただ、週後半は軟調で 6-7 日に続落して引けた。今週は国内の経済イベントが少なく、14 日に中国で発表される 7 月の固定資産投資や鉱工業生産の内容が指数を左右しそうだ。12 日は母の日（王妃誕生日）のため休場。

▼指数チャート

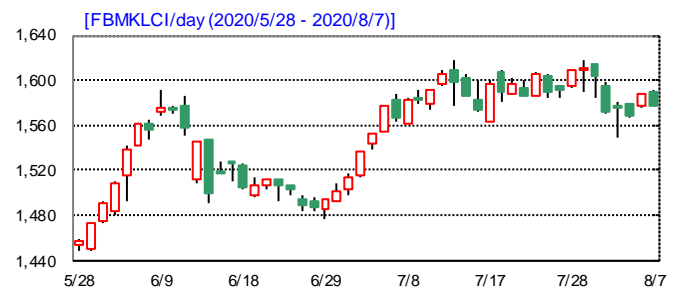


【マレーシア】

【先週の動き／今週の展望】クアラルンプール総合指数は 1.6%安、今週は 4-6 月期の GDP が焦点

クアラルンプール総合指数は週間で 1.6%安と反落。週初に終値で 1600 ポイントを割り込むと、その後は週末まで一進一退のさえない値動きが続いた。3 日は経済の先行き不透明感から幅広い銘柄が売られ、指数は前営業日比 1.9%安と続落。4 日は反発したが、5 日は売り優勢の展開となり、終値で約 1 カ月ぶりの安値を更新した。6 日は引け際に買いが集中し、前日比 1.3%高と反発した一方、7 日は 6 月の鉱工業生産が前年同月比 0.4%減と市場予想から上振れしたことが買い材料視されず、指数は反落している。今週は 12 日に 4-6 月期の GDP が発表される予定で、内容次第では 1600 ポイントを試す展開か。

▼指数チャート



本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するにしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。